

研修報告

【経済土木委員会】

10月8日～9日

生涯現役による躍進のまちづくりプロジェクト（名張市）
日本遺産を活用した観光事業（明和町）

・名張市は、内閣府の補助事業「地域創生推進交付金」と市独自の補助金により、雇用創出を進めている。特に「子育て世代の女性の支援」に力を入れ、2年間で82名の雇用と創業者21名の実績を上げている。

・明和町では「日本遺産」である斎宮跡地を活用した観光客の誘致に取り組んでいる。「明和観光公社」の立ち上げ、「ボランティア観光業」の起業者支援や、伊勢神宮等の観光ルートへの組み入れを行い、観光客は増加している。



名張市議場にて

【総務企画委員会】

10月24日～25日

空き家対策（米原市）
地域公共交通（瀬戸市）

・米原市では「まいばら空き家対策研究会」が空き家バンクを運営している。その他、空き家バンクサポーター制度、空き家に関する住宅リフォーム補助金、特定空家除却等補助金等を実施している。

・瀬戸市では民間バス、コミュニティバス、住民自らが運行管理している住民バスがある。菱野団地住民バスは、団地内3自治会の共同運営で、平日のみの運行で運転手はボランティア、運賃は無料だが運行経費の15%程度が自治会負担となっており、その費用負担とボランティア運転手の確保が今後の課題という。



米原市役所にて

【福祉文教委員会】

10月29日～30日

マイ保育園登録事業、ショートステイ・トワイライトステイ（小松市）
金沢型学校教育モデル（金沢市）

・小松市は、マイ保育園地域子育て支援拠点化推進事業を全国で初めて実施し、子育て支援プランの作成、子育て支援総合アドバイザーによる助言指導を展開、ショートステイ（短期宿泊）・トワイライトステイ（夜間預かり）は、家庭支援員が概要を説明するなど、サポート体制も整っていた。

・金沢市の金沢型学校教育モデルは、金沢方学習プログラム、金沢型学習スタイル、金沢型小中一貫教育の3つの要素で構成されている。これを土台とし、何をどのように学ぶかを重視した取り組みがなされた。



金沢市議場にて

【広報委員会】

11月7日

議会の広報活動
（株式会社会議録センター 鴻巣市）

議会だよりは、「議会活動を住民に知らせる」という重要な役割がある。住民が議会情報を得る入手先としては、議会だよりが7割を占めるとのことである。

一般質問記事においては、読者に「一番伝えたいことは何か」を明確にすることがポイント。また、吹き出し等を用いて、質問内容の要約等を掲載すると分かりやすい。

本市の議会だよりも、読者に分かりやすい紙面作りを務めていきたい。



会議録センターにて